

Donald McDonald House Charities Japan Annual Report 2015

2015年 年間報告書



財団設立の趣旨

現在、難病に苦しむ子どもの数は全国で20万人に及んでおり、その難病の子どもを持つ家族まで数えると、悩んでいる人はその数倍もいることでしょう。

これらの家族は、子どもが入院すると、自宅と入院先との二重生活による経済的な負担、家族が離れて暮らす精神的苦痛など、大きな負担に悩まされることになります。

このような家族を少しでも支援するために、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンは設立され、子どもが入院する病院の近くに家族が安心してくつろげる滞在施設を建設し、ボランティアによって運営するという活動をしています。

ドナルド・マクドナルド・ハウスは世界的な広がりを持つ活動で、現在、世界には350以上のハウスがあります。

以上のように、この公益財団法人は、患者家族の負担を社会全体で支援する仕組みづくりに寄与することを目的としているのです。



財団の概要

- 名称：

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
- 所在地：

東京都新宿区西新宿6丁目5番1号 新宿アイランドタワー39階
- 目的：

本財団は、難病およびその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成並びにその家族等に対し必要な施設の設置等の措置を講じ、その有効適切な運営を行うこと等により、もって地域社会における支援体制の確立に寄与することを目的とする
- 事業：

①難病児及びその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成事業

②福祉、医療分野等におけるボランティアの国際交流、国内外研修にかかる助成事業

③前号におけるボランティア活動を振興するための普及啓発事業

④難病児及びその家族等のための滞在施設の設置、運営及び助成

⑤その他前条の目的を達成するために必要と認める事業
- 設立：

平成11年4月1日
- 行政庁：

内閣府

- 1

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンについて
Donald McDonald House Charities Japan
- 2

目次
Contents
- 3

ご家族からのメッセージ
Message from The Family
- 5

ご挨拶
Message
- 8

全国のハウス紹介
House Information
- 19

募金プロジェクト報告
Fundraising Project
- 21

トピックス
Topics
- 29

スマイルソックスキャンペーン
Smile Socks Campaign
- 30

助成事業
Grant
- 31

応援メッセージ
Messages from Supporters
- 32

利用者からのメッセージ
Messages from Families
- 34

決算報告
Financial Report
- 37

役員・選考委員名簿
Board of Directors, Councilors and Selection Members
- 38

サポーター紹介
Supporters

Message from The Family

ご家族からのメッセージ



ふちゅうハウスを利用している佐藤奈津さんは、難病を持って生まれた次男・幹汰くん(11歳)のお母さんであり看護師さん。奈津さんはマラソンを通して、ハウスへのチャリティ活動に貢献したいと2016年2月28日に開催された東京マラソン2016にチャリティランナーとして出場しました。看護師の仕事と幹汰くんの看病との合間をぬってトレーニングを積み、見事42.195kmを完走。ハウスへの応援メッセージとともに東京マラソンに懸けた想いをお話いただきました。



病気と闘う幹汰くん



看護師として活躍する奈津さん



「自分だけじゃないんだ」と 感じられた場所

幹汰は生まれたときから数えきれないくらいの入退院をくり返し、これまで14回の手術を受けてきました。ふちゅうハウスを利用させていただくようになったのは、都立小児総合医療センターがオープンした2010年から。それまでは普通のアパートのような宿泊施設を利用していました。完全にプライベートな空間だったので、実を言うと、共用スペースのあるふちゅうハウスに最初は少し抵抗があったんです。食堂などで他のご家族と一緒にになったら、お互いに気を使ってしまおうと思ったのです。でも実際に利用してみると、皆さんとの何気ない会話に元気をもらうことができました。「どうしてうちの子だけ?」という思いが強かったのですが、同じ境遇のお母さんたちと交流することで、「自分だけじゃないんだ」と感じることができました。疲れて帰るとスタッフやボランティアの皆さんはいつも「お帰りなさい」と迎えてくれて、行きつけのペンションのような安らぎを感じています。

東京マラソンを走って感じた 使命感と達成感

東京マラソンに出場することを決めたのは、ハウスの利用者として何か恩返しがあったから。私一人で募金活動をして影響力は限られていますが、チャリティランナーとして走れば、ドナルド・マクドナルド・ハウスの認知度が上がって、少しでも協力してくれる人が増える。そうすればハウスの数ももっと増やせるのではないかなと思ったのです。

もう一つの理由は、走ることで呼吸器の病気を持つ幹汰



©東京マラソン財団



と同じ苦しさが体感できるのではないかなと思ったから。走ってみると体の方がきつくて、幹汰と同じ苦しさは感じられなかったのですが、何度もくじけそうになりながらも30km地点で幹汰やお兄ちゃんの笑顔を見つけたときは嬉しくなりました。他のランナーから「マクドナルドハウス頑張って!」と掛け声をもらったこともあり。ゴールしたときの達成感は今まで感じたことのないもの。「ドナルド・マクドナルド・ハウスのチャリティランナーとして走る」という使命感が良いプレッシャーになり、背中を押してくれたのだと思います。

支えてくれたハウスに いつか恩返ししたい!

ハウスに集まるスタッフやボランティアの皆さんは心温かい方ばかり。東京マラソンでもたくさんの人に応援してもらって、「一人じゃない。仲間がいるんだ」ということを実感することができました。ハウスのためにと思って走ったのですが、実は自分自身のためになっていたのかもしれない。子育てがひと段落したら、私も皆さんと一緒にボランティア活動をして恩返ししたいです。10万円以上寄付するとハウスのエントランスホールに名前を刻印してもらえるので、いつか感謝の思いを込めて幹汰の名前をふちゅうハウスに残したいと思っています。

ハウスには様々な困難を抱えた子どもと家族がやって来ます。もしかしたら余裕がなくて笑顔を失っているお母さんもいるかもしれません。そんなとき、ハウスのサポートで救われる家族がたくさんいるはず。これからも病気の子どもたちのためにマクドナルドハウスを応援してください!

佐藤 奈津



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

理事長

柳澤 正義

Masayoshi Yanagisawa, Chairman
Donald McDonald House Charities Japan

一人でも多くの病気のお子さんとそのご家族のために、とハウスを整備してまいりましたが、2015年は日本で10号目となるハウスを福岡の地に開設することができました。これにより、北は北海道から南は九州までカバーして、それぞれのドナルド・マクドナルド・ハウスで、毎日、患者さんとそのご家族を温かくお迎えすることができるようになりました。

ふくおかハウス開設にあたっては、福岡市のみならず、九州全土の企業や個人の皆さまからご寄付・ご支援をいただきました。すでに、満室に近い状況でご利用いただいております。また、第1号のせたがやハウスは、開設から14年を経過し、増室・リニューアルが必要となりました。このための募金活動に多くのご支援をいただき、2部屋の増室とすべての部屋の内装を新しくすることができました。さらに、せんだいハウスにつきましても多くのご寄付をお寄せいただき、現在、改修工事が行われております。

せたがやハウスのオープンから現在までに、全国のハウスで延べ40,800家族の病気と闘うお子さんとそのご家族にハウスを利用していただきました。「社会が医療を支える」このハウス事業は、少しずつその輪を広げて社会に認知されるようになり、医療界からも医療上必要なものと認めていただく機会も増えてまいりました。全国の医療機関から私どもにハウス運営を委託したいというお声掛けをいただくようにもなり、2016年5月には、神戸に11号目のハウスがオープンいたしました。

ところで、日本の小児医療は、現在、大きな転換の時期を迎えており、医学・医療の進歩によって、低出生体重児、小児がん、先天性疾患など、小児慢性疾患を持ちながら成人を迎える患者さんが増加しており、治療を受けながら子どもから大人に成長していく過程、特に思春期の医療の在り方も新たな課題となっております。専門的医療を必要とするお子さんは、ご自宅から遠く離れた拠点病院への入院を余儀なくされ、そのご家族がお子さんのそばに付き添える環境を作るうえで、ハウスは無くてはならない存在となっております。

ハウスを必要としている病気の子どもとそのご家族はまだまだたくさんいらっしゃいますが、ハウスの建設と運営には多大な費用が必要です。日本マクドナルド株式会社をはじめ、多くの企業や個人の皆さまからのご寄付、マクドナルドの店頭の募金箱に入れてくださる多くの方々の善意に心からの感謝を申し上げるとともに、約1,800人のボランティアの皆さまとともに、病気のお子さんとそのご家族の笑顔のために努力してまいりますので、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

As we strived to build Donald McDonald Houses to help as many sick children and their families as possible, we opened our 10th DMH in Fukuoka in 2015. Now, we are able to warmly welcome patients and their families to our DMH from Hokkaido in the north to Kyushu in the south.

In establishing the DMH Fukuoka, we received donations and helps not only from the Fukuoka Prefecture community but also from companies and individuals in all over the Kyushu area. DMH is already operated close to its full capacity. At the same time, DMH Setagaya, our first House in Japan built 14 years ago, required additional rooms and a renewal. Thanks to strong donation activities, we were able to create two additional rooms and renew the interior of all rooms. Furthermore, we received many donations to DMH Sendai where a repair work is underway.

Since the opening of our 1st House, total 40,800 families with sick children have used our Houses all over Japan. The DMH project under the theme of “the society supports the medical care” developed its circle of recognition in the society little by little, and the medical community has also begun to consider it as a necessary element in the medical care. Now, many medical organizations request us to operate Houses on their behalf. On May 2016 opened our 11th House in Kobe.

Now, the Japanese pediatric medicine is at a major turning point. With the progress of medical science and medical care, the number of patients who come of age with Childhood chronic diseases including low birth weight, pediatric cancer and congenital disorder is increasing. It poses new challenges to the medical care in the process of growing from a child into an adult, especially at the time of puberty. Children who require specialized medical care have no choice than staying at a main hospital far from their own houses. Our Houses are indispensable in providing environments to their families to stay by their side.

There are so many sick children and their families who need Houses in Japan. However, it requires a tremendous amount of money to build and operate a House. I am deeply grateful for the donations by McDonald's Japan and many other companies and individuals, and the goodwill of many people who contribute to the donation boxes placed in McDonald's restaurants. I sincerely thank you for your further support in our continuing efforts with our 1,800 volunteers to bring smiles to sick children and their families.



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

専務理事

廣瀬 修

Osamu Hirose, Chief Executive Director
Donald McDonald House Charities Japan

2015年は日本で国内第10号目となる「ドナルド・マクドナルド・ハウス ふくおか」が誕生しました。高島福岡市長の強いリーダーシップの元、ふくおかハウス開設のために地元で広く寄付の呼びかけが行われ、多くの方の希望と夢が詰まった温かいハウスを開設することができました。開所式には、市長やふくおかハウス募金委員会の会長を務めてくださった商工会議所の会頭、さらに多くの支援者にもご出席いただき、地元での期待の高さを感じることが出来ました。開設からわずか8カ月の間に、すでに600家族以上が利用され、たくさんの感謝の言葉がハウスには寄せられています。改めてハウスの必要性を痛感すると共にこれまでのノウハウや経験を生かし、きめ細やかなサポートを患者家族に提供できるさらなるプログラムを検討すべき時期に入ってきたのではないかと考えております。

最初のハウスが日本に誕生した2001年より、当財団では10ハウスを短期間で開設してまいりました。多くの患者家族を支援している功績が認められ、アメリカ本部より、“Excellence of Grant”に選ばれ、多額の助成金も頂戴いたしました。2016年5月には神戸ハウスが開設され、これからはさらに先を見据えたハウス運営さらには財団の運営が必要です。

これからも微力ではありますが、私どものこの活動が多くの方に理解していただけるように精一杯頑張つてまいります。今までご協力ご支援いただいた多くの皆さまに厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

In 2015, Donald McDonald House Fukuoka, the 10th DMH in Japan, had opened. We've been able to open this heart-warming House filled with hope and dream of many local people, with donations actively & widely solicited for this purpose, under powerful leadership of Mr. Takashima, the Mayor of Fukuoka City. At the opening ceremony, many supporters had participated, including the Mayor, and the head of Chamber of Commerce, who had served as the chairman of DMH Fukuoka Fund raising Committee. This scene was indicative of high expectations for the facility in the local community. In a short period of 8 months following its opening, over 600 families had stayed at the House, and words of gratitude are arriving in great amount. I've realized again how much demand this facility has, and at the same time felt that now is the time for us to explore enhancement of programs that provide more attentive support for families of sick children, by capitalizing our expertise and experience accumulated to date.

Since opening of the first House in Japan in 2001, DMHC Japan has built 10 Houses in a short period. In recognition of our contribution in supporting many families of sick children, the head office in USA had awarded us “Excellence of Grant” with large amount of subsidies. On May 2016, DMH Kobe has opened and we must operate these Houses, as well as DMHC, by looking into the future more than ever.

We will exert all of our efforts to gain further understanding and support from more people.

I would like to take this opportunity to thank all of you who have supported us to date, and ask for continued support in the future.



兵庫県立こども病院
院長

長嶋 達也

Dr. Tatsuya Nagashima, Director
Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital

2015年5月、多くの方々に支えられて「ドナルド・マクドナルド・ハウス 神戸」を開設することができました。公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンの皆さまはじめ大勢のボランティアの皆さまに心より感謝申し上げます。

兵庫県立こども病院は1970年の開設以来、時代の要請にこたえて総合周産期母子医療センター、小児救急センター、小児がん医療センター、小児心臓センターを開設してまいりました。このたび、ポートアイランドの地へ新築移転することにより、様々な専門医療施設と連携してさらに高度な医療に取り組めます。

こども病院の果たすべき役割は常に変化しています。小児救急医療センターのER化とともに屋上ヘリポートを設置し、救急患者をより広範な地域から受け入れます。小児がん医療センターは、「小児がん拠点病院」の一つとして高いレベルの診療を続けるとともに、2017年開設予定の陽子線治療センターと連携して日本の小児がんの治療水準向上を目指します。小児心臓センターでは成人先天性心疾患の診療体制も整いつつあります。年間4000件の全身麻酔を可能とする麻酔科、内視鏡手術、ナビゲーション手術、カテーテル治療など最新の機能を有する手術室と集中治療部門を整備します。

私たちの第1の使命は「治す」ことであり、「治せるものは必ず治す」ことに全力を傾けます。しかし、いかに進歩した医学をもってしてもすべての病気を「治す」ことができるわけではなく、むしろ、「治らない」病気のこども達を受け入れることが私たちの使命です。新病院では在宅医療支援病棟を整備し、「治す」と「支える」ことをこども病院の両輪としてまいります。神戸ハウスが「こども達とその家族」を支える強い味方となってくれることを確信いたします。

We opened Donald McDonald House Kobe in May 2015 thanks to support from many people. I'd like to express my sincere gratitude to everyone at Donald McDonald House Charities Japan as well as a lot of volunteers.

Since its establishment in 1970, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital has opened Perinatal Mother and Child Medical Care Center, Pediatric Medical Emergency Center, Pediatric Cancer Center and Pediatric Cardio-Center to meet the needs of the era. The hospital is now going to be relocated to Port Island, where a newly constructed building will open, aiming to tackle further advanced health care hand in hand with various specialized medical facilities.

The responsibilities of Children's Hospital are always changing. As Pediatric Medical Emergency Center has come to play a role of ER, a heliport will be installed on its rooftop to accept emergency patients from a wider area. Pediatric Cancer Center will continue giving diagnoses as one of pediatric cancer hospitals and, at the same time, collaborate with Proton Beam Therapy Center planned to be established in 2017, in order to advance the level of pediatric cancer treatments in Japan. At Pediatric Cardio-Center, a medical care system for adult congenital heart diseases is being organized. It will have operating rooms and intensive care units equipped with state-of-the-art functions such as an anesthesia team capable of 4,000 cases of general anesthesia a year, endoscopic surgery, navigation surgery and catheter surgery.

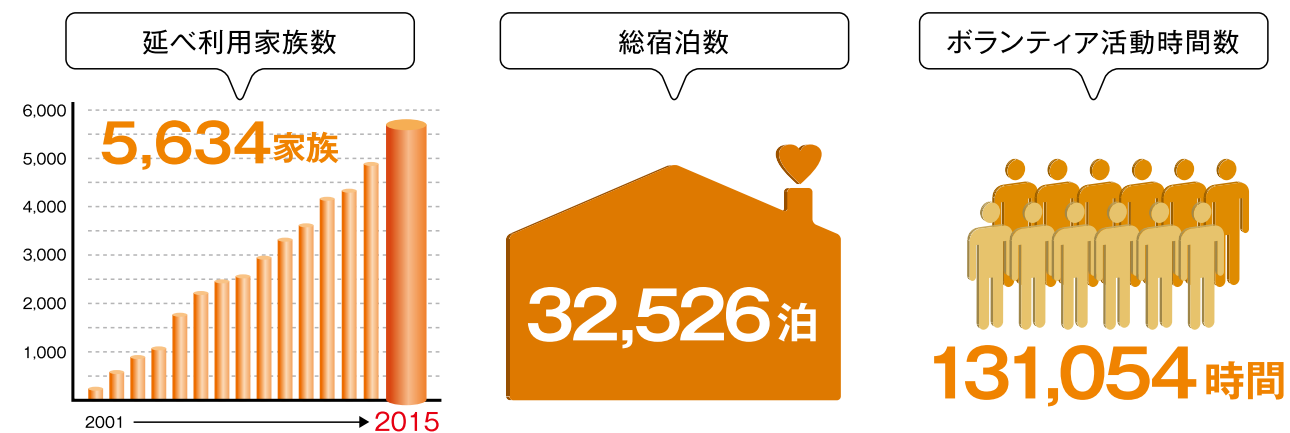
Our first mission is "Curing" and we will devote all our energy to "Cure any curable diseases without fail." However, not all the diseases can be cured with any advanced medical science, and rather, even accepting children with "Incurable diseases" is our mission. The new hospital with a home care support ward will serve in terms of both "Curing" and "Support." I am confident DMH Kobe will strongly help us support "Children and their families."



全国のハウス紹介

ドナルド・マクドナルド・ハウスの利用状況

2015年実績



2016年に
神戸ハウス
OPEN!





ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがや



〒157-0074 東京都世田谷区大蔵2-10-10
電話:03-5494-5534 FAX:03-3749-2267

施設概要

2001年12月に誕生した国内第1号の「せたがやハウス」
国立成育医療研究センターに隣接して建てられました。
小児ベッド数が490床ある国立成育医療研究センターに
は、全国各地から患者が入院または通院しています。

ハウス情報

- 延べ床面積:1,744.29㎡
- 規模:地上4階建て、地下1階
- ベッドルーム数:23室

収支報告 (単位:円)

▼ 支出		▼ 収入	
給料手当	10,211,467	利用料	8,944,000
水道光熱費	7,965,271	寄付金収入	11,450,115
租税公課	4,542,100	会費収入	1,244,000
修繕費	38,340,000	前年度繰越金	19,712,376
その他	5,918,284	財団からの補助金収入	24,801,070
		その他	825,561
合計	66,977,122	合計	66,977,122

2015年実績

- 利用家族数:800家族
- 総宿泊数:5,854泊
- 平均滞在日数:7.3日
- ボランティア登録者数:147名
- ボランティア活動時間数:12,584時間



Message

私の母がボランティアとして参加させていただいたことからご縁をいただき、せたがやハウス増室
工事プロジェクトに参加させていただきました。大切なご家族を支える利用者の方に少しでも気持
ちが休まる空間を提供したいとの呼びかけに、弊社の取引先様も大勢参加していただきました。
業界内での輪を広げながら、これからもハウスをバックアップしてゆく所存です。
ご理解とご支援をいただいた、財団とハウスの皆さまに心から感謝申し上げます。

マナトレーディング株式会社 取締役営業本部長
齋藤 洋平



ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだい



〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合4-5-3
電話:022-391-1233 FAX:022-392-5535

施設概要

2003年11月に誕生した国内第2号目の「せんだいハウス」
は宮城県立こども病院のそばに建てられました。こども病
院は160床あり、ハウスは主に東北地方からの患者家族
が利用しています。

ハウス情報

- 延べ床面積:1,679.36㎡
- 規模:共有棟(平屋建て)、宿泊棟(2階建て)
- ベッドルーム数:16室

収支報告 (単位:円)

▼ 支出		▼ 収入	
給料手当	9,135,819	利用料	5,698,500
水道光熱費	8,224,738	寄付金収入	5,492,986
租税公課	1,622,300	会費収入	1,284,000
修繕費	19,440,000	前年度繰越金	17,827,043
その他	5,592,812	財団からの補助金収入	13,465,019
		その他	248,121
合計	44,015,669	合計	44,015,669

2015年実績

- 利用家族数:1,149家族
- 総宿泊数:3,853泊
- 平均滞在日数:3.4日
- ボランティア登録数:208名
- ボランティア活動時間数:15,773時間



Message

仙台宮城野ロータリークラブでは、2008年からクリスマス家族会のチャリティー収益金などで定期
的に寄付を行って参りました。また、当クラブ15周年記念時にはTVの寄贈、リフレッシュ募金プロ
ジェクトは世話人としてご協力させて頂きました。
病気と闘うお子様、そのご家族が少しでも安心して過ごせる施設維持と運営に期待し、今後も支
援の輪を広げて参りたいと考えております。

仙台宮城野ロータリークラブ 会長
佐藤 優昭





ドナルド・マクドナルド・ハウス こうち



〒781-0111 高知県高知市池953-10
電話:088-837-3650 FAX:088-837-3652

施設概要

2005年2月に誕生した国内第3号目の「こうちハウス」は同時期に開院した高知医療センターのそばに建てられました。高知医療センター内には母子医療センターがあり、ハウスには小児の患者家族が宿泊しています。

ハウス情報

- 延べ床面積:1,180.72㎡
- 規模:平屋建て
- ベッドルーム数:16室

収支報告 (単位:円)

▼ 支出		▼ 収入	
給料手当	8,403,851	利用料	1,460,000
水道光熱費	2,881,352	寄付金収入	2,059,947
租税公課	125,600	会費収入	425,000
その他	4,681,812	財団からの補助金収入	12,031,668
		その他	116,000
合計	16,092,615	合計	16,092,615

2015年実績

- 利用家族数:256家族
- 総宿泊数:1,212泊
- 平均滞在日数:4.7日
- ボランティア登録者数:80名
- ボランティア活動時間数:11,473時間

Message

遠方から高知医療センターや高知市内の医療機関に入院される小児患者のご家族にとって、長期の付き添いや通院は、肉体的、精神的、経済的に大きな負担となるものです。「ドナルド・マクドナルド・ハウス こうち」のおかげで、患者のご家族は様々な負担が軽減され、病院での緊張をほぐし病気と闘う活力を取り戻すことができます。今後とも、スタッフと多くのボランティアの皆さまの協力により、子どもたちとその家族が、元気と笑顔を取り戻せる施設であることを期待しております。

高知県知事

尾崎 正直



ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた



〒565-0875 大阪府吹田市青山台4-31-20
電話:06-6836-6551 FAX:06-6831-7611

施設概要

2005年10月に誕生しました国内4号目の「おおさか・すいたハウス」は、国立循環器病研究センターの向かい側に建てられました。国立循環器病研究センターは小児病院ではありませんが、全国から心臓病の患児が入院または通院にきています。入院患者の家族の宿泊場所がなく困っていたことから病院および自治体からハウス建設の依頼を受け、ハウス建設が実現しました。

ハウス情報

- 延べ床面積:1,292.88㎡
- 規模:共有棟(平屋建て)、宿泊棟(2階建て)
- ベッドルーム数:18室

収支報告 (単位:円)

▼ 支出		▼ 収入	
給料手当	8,956,298	利用料	7,448,000
水道光熱費	5,282,684	寄付金収入	3,811,515
租税公課	3,841,100	会費収入	1,144,000
その他	3,880,967	財団からの補助金収入	5,828,616
		吹田市補助金	2,654,000
		その他	1,074,918
合計	21,961,049	合計	21,961,049

2015年実績

- 利用家族数:640家族
- 総宿泊数:5,195泊
- 平均滞在日数:8.1日
- ボランティア登録者数:150名
- ボランティア活動時間数:15,967時間

Message

国立循環器病研究センターは1977年7月に開設されました。これまで多くの脳卒中や心臓病の患者さんを治療してきましたが、その中には、大阪や関西のみならず全国から来られた多くの小児の患者さんも含まれています。小児の患者さんが入院される場合、同行される親御さんが宿泊される場所が必要です。私は1981年から1984年まで、当センターにレジデントとして勤務していましたが、その頃は、家族が宿泊できる施設がなく、遠方から来られたご家族は大変苦労されていたと思います。2005年10月に、国内で4番目となるドナルド・マクドナルド・ハウスが、センターから5分の場所に完成し、親御さん方に大変に喜ばれています。当センターは、2018年度にJR東海道本線の岸辺駅の正面に移転することが決まっており、この8月から工事が始まります。移転に伴い、地元吹田市のご支援により、ハウスもセンターに隣接して新築移転することが決定しています。これまで同様、全国各地の脳卒中や心臓病のお子さんをお持ちの親御さんに安心して受診いただけるよう、当センターとしても、ハウスの移転に協力してまいります。

国立循環器病研究センター 理事長

小川 久雄





ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ



〒329-0434 栃木県下野市祇園2-36-3自治医大2号館3階
電話:0285-58-7551 FAX:0285-44-4154

施設概要

2006年9月に誕生しました国内第5号目の「とちぎハウス」は自治医大とちぎ子ども医療センターの向かい側に開設されました。とちぎハウスは、自治医科大学の建物の一部を無償で借りし、県の補助金を使って大学側に内装整備していただいたニューモデルのハウスです。2013年には増室工事をし、7室だったハウスが10室になりました。

ハウス情報

- 延べ床面積:652.9㎡
- 規模:3階建ての3階部分
- ベッドルーム数:10室

収支報告 (単位:円)

▼支出		▼収入	
給料手当	8,540,931	利用料	3,517,000
水道光熱費	2,397,935	寄付金収入	5,373,783
その他	2,731,394	会費収入	989,000
		財団からの補助金収入	1,515,739
		運営費負担金	1,661,500
		その他	613,238
合計	13,670,260	合計	13,670,260

2015年実績

- 利用家族数:399家族 ■総宿泊数:2,549泊
- 平均滞在日数:6.4日 ■ボランティア登録者数:243名
- ボランティア活動時間数:17,738時間



Message

2006年1月、下野市が合併した同じ年の9月に「ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ」が開設されました。ともにこの10年間を歩んでこられた喜びと、多くのボランティアの方々やスタッフ、関係者の皆さまのご尽力に心より感謝を申し上げます。2013年の増設工事により、より多くの方が利用できるようになり、喜びの聲が不安や孤独を抱えている利用者の皆さまに、「下野市に来てよかった」と、少しでもほっとできるひとときを感じていただけるよう、より良いまちづくりに取り組んでまいります。

下野市長

広瀬 寿雄



ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ



〒006-0041 北海道札幌市手稲区金山1条1丁目2-5
電話:011-688-4533 FAX:011-691-8866

施設概要

2008年12月に誕生しました国内第6号目の「さっぽろハウス」は北海道立子ども総合医療・療育センター(通称:コドモックル)の向かい側に開設されました。コドモックルは215床あり道内からの患者家族が利用しています。

ハウス情報

- 延べ床面積:994.2㎡
- 規模:平屋建て
- ベッドルーム数:10室

収支報告 (単位:円)

▼支出		▼収入	
給料手当	8,294,690	利用料	3,646,000
水道光熱費	4,575,866	寄付金収入	3,283,364
租税公課	1,005,500	会費収入	312,000
その他	3,581,791	財団からの補助金収入	10,094,827
		その他	121,656
合計	17,457,847	合計	17,457,847

2015年実績

- 利用家族数:531家族 ■総宿泊数:2,191泊
- 平均滞在日数:4.1日 ■ボランティア登録者数:253名
- ボランティア活動時間数:14,245時間



Message

北海道では、未来を担う子どもたちが、健やかに成長できる社会の実現をめざして、2007年に小児医療と療育の専門施設として子ども総合医療・療育センター(通称:コドモックル)を開設しました。その翌年に誕生した「さっぽろハウス」は、コドモックルでの医療・療育を必要とするお子さんと、できる限り一緒に時間を過ごしたいというご家族の願いを叶える場として、多くの皆さんの心強い支えとなってまいりました。これからも、地域や企業など数多くの皆さまからのご支援により、「さっぽろハウス」が子どもたちとご家族に安らぎと希望を提供し続けていただきますよう心から期待しています。

北海道保健福祉部長

村木 一行





ドナルド・マクドナルド・ハウス ふちゅう



〒183-0042 東京都府中市武蔵台2丁目9-2
東京都立多摩・小児総合医療センター宿泊棟1階
電話:042-300-4181 FAX:042-325-2266

施設概要

2010年3月、東京都府中市に日本第7号目の「ふちゅうハウス」がオープンしました。東京都立小児総合医療センターの隣接地に建てられたハウスは、東京都の宿舍棟の1階部分を無償でお借りし、12家族が滞在可能です。

ハウス情報

- 延べ床面積:688.3㎡
- 規模:5階建ての1階部分
- ベッドルーム数:12室

収支報告 (単位:円)

▼ 支出		▼ 収入	
給料手当	9,122,292	利用料	4,936,000
租税公課	160,500	寄付金収入	2,106,872
その他	2,744,123	会費収入	267,000
		財団からの補助金収入	4,137,573
		その他	579,470
合計	12,026,915	合計	12,026,915

2015年実績

- 利用家族数:480家族
- 総宿泊数:3,214泊
- 平均滞在日数:6.7日
- ボランティア登録者数:136名
- ボランティア活動時間数:10,805時間



Message

当部所属員がふちゅうハウス創設当時からボランティアとして活動しているのがきっかけで、弊社全社運動である「MoT運動」の一環として3年前からの活動となります。

月に一度ではありますが、少しでも施設利用者のお役に立ちたい、という想いを持って、微力ながらお手伝いをさせていただいております。私どもにできることは限られておりますが、精一杯取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

明治安田生命保険相互会社 内部監査部長

小林 雅紀



ドナルド・マクドナルド・ハウス 東大



〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東大構内
電話:03-3812-9877 FAX:03-3812-9688

施設概要

2011年12月、日本で最初のハウスが誕生して10年を記念して、東京大学構内に日本第8号目の「東大ハウス」がオープンしました。東京大学医学部附属病院の隣接地に建てられたハウスは、4階建てで12家族が滞在可能です。

ハウス情報

- 延べ床面積:974.64㎡
- 規模:4階建て
- ベッドルーム数:12室

収支報告 (単位:円)

▼ 支出		▼ 収入	
給料手当	8,549,429	利用料	5,208,000
水道光熱費	2,566,561	寄付金収入	6,034,072
租税公課	5,327,730	会費収入	559,000
その他	4,299,934	財団からの補助金収入	6,331,724
		運営補助金	2,000,000
		その他	610,858
合計	20,743,654	合計	20,743,654

2015年実績

- 利用家族数:310家族
- 総宿泊数:3,264泊
- 平均滞在日数:10.5日
- ボランティア登録者数:232名
- ボランティア活動時間数:13,528時間



Message

病気と闘う子どもたちにとって、近くに寄り添うご家族がいることは、何よりも心強いサポートです。そのようなご家族のご負担を軽減し、お子さんの入院生活を支えるために、東大ハウスは大きな貢献をしています。設置後約4年が経過しましたが、ご利用いただいた方々からはますます好評を得ています。子どもたちの笑顔のための「ドナルド・マクドナルド・ハウス」の活動に感謝申し上げます。

東京大学医学部附属病院 病院長

齊藤 延人





ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや



〒466-0065 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65
名大病院構内
電話:052-744-0203 FAX:052-741-7707

施設概要

2013年11月に誕生した国内9号目となる「なごやハウス」は中部地方で初めてのハウスとして誕生しました。名古屋大学医学部附属病院構内に建てられたハウスは、3階建てで12家族が滞在可能です。

ハウス情報

- 延べ床面積:1,192㎡
- 規模:3階建て
- ベッドルーム数:12室

収支報告 (単位:円)

▼支出		▼収入	
給料手当	7,431,838	利用料	3,578,000
水道光熱費	3,430,392	寄付金収入	6,513,609
租税公課	2,646,800	会費収入	237,000
その他	3,957,038	財団からの補助金収入	6,840,537
		その他	296,922
合計	17,466,068	合計	17,466,068

2015年実績

- 利用家族数:464家族
- 総宿泊数:2,246泊
- 平均滞在日数:4.8日
- ボランティア登録者数:140名
- ボランティア活動時間数:10,482時間



Message

豊かな愛の溢れる家。病に倒れた人々の折れかかった心と体に真の愛情のこもった「温かい一言」は、断崖絶壁からその人の心を救い、そして病に立ち向かう勇気を奮い立たせてくれることでしょう。そんな、人を愛する心の原点を感じさせる場所こそが「ドナルド・マクドナルド・ハウス」です。このハウスに足を踏み入れた人は、その心温まる雰囲気、自分の荒れ果てた心のすべてがぬぐい去られ、人を愛さずにはいられない優しさに包まれます。これからも、そういうハウスであり続けて欲しいと思っています。

名古屋大学 脳神経外科教授・副研究科長

若林 俊彦



ドナルド・マクドナルド・ハウス ふくおか



〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉5-1-2
電話:092-692-2031 FAX:092-692-9087

施設概要

2015年5月に誕生した国内10号目となる「ふくおかハウス」は九州地方で初めてのハウスとして誕生しました。福岡市立こども病院の敷地内に建てられたハウスは、2階建てで16家族が滞在可能です。

ハウス情報

- 延べ床面積:1385.85㎡
- 規模:2階建て
- ベッドルーム数:16室

収支報告 (単位:円)

▼支出		▼収入	
給料手当	6,648,738	利用料	4,577,000
水道光熱費	3,175,460	寄付金収入	7,654,651
租税公課	261,800	会費収入	78,000
その他	7,990,802	財団からの補助金収入	5,074,301
		その他	692,848
合計	18,076,800	合計	18,076,800

2015年実績

- 利用家族数:605家族
- 総宿泊数:2,948泊
- 平均滞在日数:4.9日
- ボランティア登録者数:196名
- ボランティア活動時間数:8,457時間



Message

当院は、1980年の開院以来、小児高度専門医療機関として九州・西日本一円から広く患者を受け入れてきましたが、2014年秋に新病院へ移転致しました。移転に伴い2015年5月に国内10番目のハウスとして、当院敷地内にふくおかハウスが誕生致しました。福岡市・機構関係者をはじめ、経済界・市民団体等有志の方々からの多くの寄付で建設費を募っており、今日に至るまでのべ5,000人以上の方にご利用いただいております。今後ともよろしく願い致します。

福岡市立こども病院 院長

原 寿郎





せたがやハウス増室プロジェクト



オープン以来、10,000家族以上が利用された一方で、満室のために利用できなかった家族もいらっしゃいます。一家族でも多くの家族に利用いただけるよう増室プロジェクトを立ち上げました。

7月9日(水) 増室及び修繕工事募金支援の会立ち上げ
増室及び修繕のための費用3,000万円を目標にどのように活動を進めていくか話し合われました。



2014年

7月

8月

9月

10月



8月 増室募金感謝の樹、くるくる募金箱を設置し募金・寄付を募りました。
増室募金感謝の樹、384名、募金総額6,018,683円
くるくる募金箱 募金総額635,557円



9月25日(木) 第1回チャリティーゴルフ大会
参加者33名、募金総額300,775円

2015年

1月

3月

5月

6月

10月

11月

2015年3月3日(火) "Charity Gala Party for SETAGAYA HOUSE"
天谷麻世さんのミニコンサート、チャリティーラッフルを実施しながらフランス料理を楽しんでいただきました。参加者67名、募金総額789,762円



6月12日(金) 第2回チャリティーゴルフ大会
参加者32名、募金総額294,803円

10月19日(月)～11月24日(火) 増室及び修繕工事
ハウスを休館し、増室及び修繕工事を行いました。

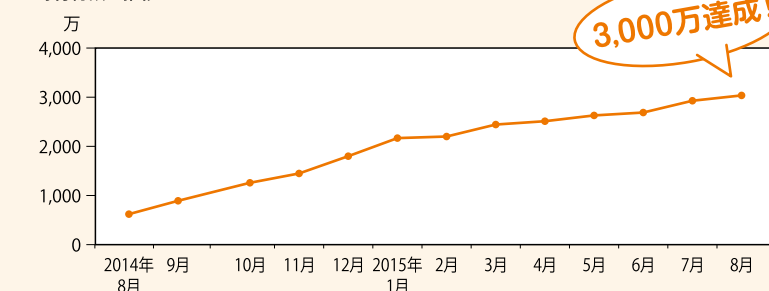


11月24日(火) 増室完成お披露目会
ご支援をいただいた方をご招待し新たに増えた2室のベッドルームを披露しました。当日振る舞われた料理はグラクソ・スミスクライン社の皆さまがボランティアで作ってくださいました。
最終募金総額31,337,226円



11月25日(水) 23室で運営再開

<寄付総額の推移>



せんだいハウスリフレッシュ工事プロジェクト

開設より10年が経過したせんだいハウスは、これからの10年のために活動全体の新規発展や設備工事として約2,000万円の資金が必要となりました。この資金を捻出するために「リフレッシュプロジェクト募金委員会」を設立し、募金活動が展開されました。

▼2014年1月30日(木) 「リフレッシュプロジェクト募金委員会」立ち上げ

代表世話人のこども病院 林病院長を中心にどのようにして寄付を集めていくか話し合われました。



▼ダイレクトメール作戦
東北の医療機関やこれまでにハウスを利用された家族に支援を呼びかけました。7,935件に発送し、11,612,794円の寄付を頂きました。



▼6月19日(木)
仙台宮城野ロータリークラブ例会にて講話を行い、500,000円の寄付が集まりました。

▼8月20日(水)～25日(月)
「ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだい」支援チャリティー展をオープンギャラリー「くろすろーど」にて開催。収益の一部の寄付および募金箱で350,448円をいただきました。

▼2015年1月25日
東北楽天イーグルス銀次選手の激励会にてチャリティーオークションが開催され、407,000円の寄付をいただきました。



▼ポロシャツ募金
ロゴ入りのポロシャツを作成し、リフレッシュポロシャツ募金を展開。450,000円の募金が集まりました。



▼2016年12月 目標額2,000万達成

▼2016年1月12日
～工事スタート

●皆さまの温かいご支援に心より感謝いたします。



第10号ドナルド・マクドナルド・ハウス ふくおか 竣工

3月27日(金)「ドナルド・マクドナルド・ハウス ふくおか」の完成を祝う竣工記念式が執り行われ、180名の方にお集まりいただきました。福岡市立こども病院の移転に伴い、福岡市より建設の要望があり誕生した「ふくおかハウス」は九州初のハウスです。

建設にあたっては、地元の経済界、医療界、行政、スポーツ界、市民団体などを中心に「ふくおかハウス」建設募金委員会が立ち上げられ、広く周知や広報活動を行ったことにより支援の輪が広がり、建設費の半分に当たる2億円を超える寄付が地元より集まりました。

竣工記念式典では高島宗一郎福岡市長や「ふくおかハウス」建設募金委員会の末吉紀雄委員代表よりお祝いの言葉を頂戴しました。またアーティストの石井竜也さんが10号目のハウスを記念して作詞作曲されたドナルド・マクドナルド・ハウスのテーマソング「ウタノチカラ」を披露されました。

ハウスの運営をサポートしたいというボランティア175名と共に、5月1日よりご家族の受け入れを開始し、子ども病院に入院している子ども達のご家族を支援しています。



ハウス訪問

2015年も多くの著名な方がハウスを訪問してくださいました。

元サッカー日本代表
北澤豪さん

1月22日(木)元サッカー日本代表の北澤豪さんがせたがやハウス訪問しました。北澤さんは闘病生活を送っている佐々木一興くん(10歳)と出会い、外で遊べない一興くんはハウスの中でゴムボールを蹴りながら、サッカーを教えてくださいました。また2月22日(日)に行われた東京マラソン2015にチャリティランナーとして参加し、完走したランナーに送られる金メダルを、後日、一興くんに届けてくれました。



読売ジャイアンツ
阿部慎之助 選手・中井大介 選手

12月18日(金)読売ジャイアンツで活躍している阿部慎之助選手、中井大介選手がせたがやハウスを訪問しました。クリスマス前ということで、中井選手はサンタクロースに扮して登場。一緒にクリスマスツリーの飾りつけを行ったり、子ども達にプレゼントを渡してくれました。



東北楽天ゴールデンイーグルス
銀次 選手

12月3日(木)東北楽天ゴールデンイーグルス銀次選手が、今年も病気の子供達を応援するためにせんだいハウスに来てくれました。銀次選手の訪問を楽しみに待っていた子ども達とクリスマスツリーを作ったり、的当てゲームをしたりと大忙しの銀次選手。キャッチボールをした男の子は大感激の様子でした。

この日残念ながらハウスには来れなかったけど15時間の手術を頑張ったゆうなちゃんのために「がんばれ!」の気持ちをこめたサインをプレゼントされ「明日からまた、ゆうなと一緒に頑張れる」とご両親は笑顔でした。





チャリティーイベント

♥ チャリティ フットサル開催

10月7日(水)、「ドナルド・マクドナルド・ハウス支援 北澤豪プロデュース チャリティーフットサル大会in東京」がMIFA Football Parkで開催されました。

ハウス支援に賛同し、参加した16チーム。「日本コカ・コーラ」「カゴメフットサルクラブ」「スペシャルオリンピックス日本」など多くの企業や団体の方がチームを組み、ハウスサポーターの印である赤白のスマイルソックスを履いて試合にのぞみました。

今回のチャリティフットサル大会では、477,385円の寄付が集まり全額ハウスに寄付されました。プロデュースしてくださった北澤さん、参加された皆さま、本当にありがとうございました。



♥ チャリティーイベント with コンサドーレ札幌

もっと北海道の人にさっぽろハウスのことを知ってもらいたいという思いから、チャリティーイベント2015実行委員会が立ち上がり、11月3日(祝)札幌ブラザ2・5にてチャリティーイベントが開催されました。HTBアナウンサー大野恵さんによりハウス利用家族のおてがみ朗読やパネルの展示が行われ、多くの方にハウスの活動を知っていただきました。

またコンサドーレ札幌から小野伸二選手、河合竜二選手、金山隼樹選手を迎え、トークショーやチャリティー抽選会、オークションを行いました。小野選手は履いていたシューズをその場で脱いで提供してくださり、総額454,064円の寄付が集まりました。



♥ チャリティー パーティー

10月14日(水)ドナルド・マクドナルド・ハウスを支援するチャリティーパーティーが開催されました。2015年にハウスをご支援くださった企業や個人の方の表彰を行い、盾とピンズを贈呈しました。またビジネスファーストクラスで行くユナイテッド航空往復ペアチケットなどの豪華賞品が当たるチャリティーラッフルも大好評で、多くの方にご協力いただきました。500名の皆さまにご来場いただき、3,890,000円の寄付が集まりました。



♥ 学会での募金活動

6月11日(木)～13日(土)第15回アジア・オセアニア小児放射線学会・第51回日本小児放射線学会にて、9月11日(金)～13日(日)第33回日本小児心身医学会学術集会で募金活動を実施し130,672円の募金が集まりました。医療関係者の方々にドナルド・マクドナルド・ハウスを知っていただくよい機会となりました。



♥ チャリティーゴルフでハウスを支援

ドナルド・マクドナルド・ハウスの支援を目的としたチャリティーゴルフが各地で開催され多くの方が参加されました。プレイだけでなく、ワンオンチャリティーやオークションなども行われ、楽しみながらチャリティーにも参加していました。

●第17回ドナルドマクドナルドハウスチャリティーゴルフ
12月15日(火) 総勢133名(プロを含む) 募金総額8,200,000円

●せたがやハウス増室チャリティーゴルフ
6月12日(金) 総勢32名 募金総額294,803円

●東大ハウス チャリティーゴルフ
10月30日(金)総勢40名 募金総額408,453円

●レモンガスチャリティーゴルフ
9月15日(火)レモンガス株式会社関係者によるチャリティーゴルフが開催され、1,000,000円を贈呈していただきました。





♥ トリオ・リベルタ チャリティーコンサート

12月2日(水)、横浜みなとみらいホール大ホールにてトリオ・リベルタのチャリティコンサートが開催されました。トリオ・リベルタは、クラシックの第一線で活躍する中岡太志さん、石田泰尚さん、松原孝政さんからなる人気トリオです。コンサート前には中岡さんが東大ハウスを訪問して下さり、「ハウスは開放的で清潔感があり、まさにご家族にとっては第二のわが家。私たちの演奏を通じてもっともっと多くの人にハウスを知ってもらいたい」と話してくださいました。コンサート終了後には募金ブースにて、ハウスへの協力を皆さんで呼びかけてくださり、総額3,300,000円のご寄付をいただきました。



RMHCコンベンションinシカゴ

8月24日(月)~27(木)、RMHCコンベンションがシカゴで開催されました。2年に1度開催されているこのコンベンションには、世界41ヵ国からハウスに携わっている関係者1,000名以上が参加し、トレーニングセッションや事例発表、表彰が行われました。どうやって寄付を集めるか、ボランティアをどのように確保するかなど国は違えど悩みは一緒。各国との意見交換がとても勉強になりました。



企業ボランティア

グラクソ・スミスクライン株式会社

社会貢献活動の一環として全国の社員が各地域のハウスに行き、利用しているご家族への食事提供を行う「ミールプログラム」を行っています。今年は合計で45回実施していただきました。



『病院での付き添いや看病で忙しく、食事を作る余裕がないこともあるので、病院から帰ってきてすぐに温かくておいしい食事がとれる「ミールプログラム」はたいへん助かります。』

テルウェル東日本株式会社

社内報にてハウスの活動を紹介し、社員の皆さまでハウスで必要な日用品を集めハウスに寄付していただきました。



株式会社カーブスジャパン

スポーツクラブの会員の皆さまが缶詰やレトルト食品などを持ち寄り「フードドライブ」として、集まった品をハウスに寄付していただきました。



『なかなか買い物に行く時間がとれないので、ハウスにいるんな食品が置いてあるととても助かります。』



オープンハウス報告

地域の皆さまにハウスのことを知っていただくために、年に1度行っているオープンハウス。今年も各地でさまざまなイベントが行われました

10月3日
(土)

せんだいハウス

募金総額：126,780円

来場者数：156名

「子ども達に参加してもらう」をテーマつみ木ワークショップを実施。3種類のヒノキのつみ木1万個以上をみんなで積み上げ、大きな町を完成させました。さらに子ども達が輪になって、アフリカの太鼓やタンバリンをたたいてのドラムサークルのワークショップも実施。多くの子ども達に楽しんでもらいました。



10月24日
(土)

おおさか・すいたハウス

募金総額：1,706,672円

来場者数：800名

10周年記念をテーマに開催。オープンからハウスを支えてくれた10年ボランティアの表彰から始まり、これまでのハウスの歩みを紹介しました。恒例の協賛企業によるチャリティー販売は大盛況。さらに三代目 J Soul Brothers 山下健二郎さん協力によるチャリティーオークションも実施し、多くの方にハウスを知っていただけるイベントとなりました。



10月25日
(日)

ふくおかハウス

募金総額：106,373円

来場者数：210名

「夢ときめく!アイランドシティ10周年」イベントとタイアップし、初めてのオープンハウスに望みました。イベント会場のステージでハウスの紹介を行いながら募金の呼びかけを行い、さらにハウスを自由に見ていただけるようハウスツアーを実施しました。



12月5日
(土)

とちぎハウス

募金総額：297,094円

来場者数：233名

「とちぎハウスに行ってみよう」をテーマにオープンハウスを実施。日頃、募金箱を設置して下さっているお煎餅屋やパン屋などの店舗にご協力いただき、チャリティー販売を実施しました。ボランティアの手作りの品バザーやとれたて野菜も大好評でした。おかげさまで多くの方にハウスに足を運んでいただきました。



10月17日
(土)

ふちゅうハウス

募金総額：62,500円

来場者数：85名

隣接する都立府中看護専門学校の学校祭とのタイアップで実施し、体育館で行ったチャリティーバザーは今年も好評でした。ハウス内では協賛企業によるチャリティー販売も実施しながら、ハウスへの理解と支援をお願いしました。



10月25日
(日)

こうちハウス

募金総額：756,470円

来場者数：320名

高知医療センターの病院長による講演会やBiscottiによるライブ、アイゴッソ高知の選手との交流やラッフル抽選会などイベントが目白押しでどの時間帯にきてても楽しんでいただけるオープンハウスになりました。



12月6日
(日)

なごやハウス

募金総額：260,901円

来場者数：210名

2回目のオープンハウスはマジックショー、バザー、チャリティーラッフルなどイベント盛りだくさんとなりました。エントラスの「クリスマスツリーを飾ろう」コーナーでは、皆さまにサンタさんへのお願いごとを書いてもらい、素敵なツリーが出来上がりました。



12月6日
(日)

せたがやハウス

募金総額：417,875円

来場者数：339名

増室募金によって新たに増えたベッドルームのお披露目を兼ねて開催しました。小学生による和太鼓演奏、日大の学生による縁日、協賛企業によるハンドマッサージやチャリティー販売など多くの方にご協力いただき盛り上げることができました。



Smile Socks Campaign

スマイルソックスキャンペーン



マクドナルド店舗にて「スマイルソックス」キャンペーン実施

ドナルド・マクドナルド・ハウスが世界で40周年になったことを記念し、さらに多くの方にハウスの活動と支援の必要性を広く知っていただくために、日本マクドナルドと共同で「スマイルソックス」キャンペーンを実施しました。

キャンペーン実施期間中、マクドナルド店頭で300円以上を募金して下さった方に、支援の証である「スマイルソックス」を差し上げるほか、様々な告知活動を実施しました。

キャンペーンに先駆けての発表会には、石田純一さん・東尾理子さんご夫妻と長男の理汰郎くん、そして2015年フィギュアスケート全米選手権優勝者のジェyson・ブラウン選手が参加され、みなさんにスマイルソックスを履いていただき、ハウスの必要性や支援の呼びかけを行っていただきました。



全国のマクドナルド店内もスマイルソックスに合わせて、赤白のストライプで飾られ、チャリティへの促進運動を行いました。またキャンペーンと同時にテレビコマーシャルも流れ、ハウスへの支援の輪が大きく広がりました。

《McD店内の様子》



Grant

助成事業



ボランティア活動費の助成

難病児およびその家族を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成事業として11団体に助成をしました。

助成先団体	助成金額
特定非営利活動法人サクセスこども総合基金	240,000 円
全国色素性乾皮症（XP）連絡会 XP つくしんぼの会	200,000 円
病気の子どもの学習・復学支援 ポケットサポート	200,000 円
アンジェルマン症候群児親の会 エンジェルの会	150,000 円
特定非営利活動法人バリアフリーセンター 福祉ネットナナの会	111,800 円
つくばけやきつず	100,000 円
特定非営利活動法人親子はねやすめ	100,000 円
一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会	100,000 円
特定非営利活動法人アートセラピー研究所 DAM	100,000 円
マルファンネットワークジャパン	91,000 円
NPO 法人結人	50,000 円
助成総額	1,442,800 円

助成先からの報告

特定非営利活動法人アートセラピー研究所DAM

「ノーマライゼーションの実現」と「より充実した芸術活動を行うための信頼関係の形成」を目標に行われた『ちがうみんなのファミリーキャンプ』。ダウン症児をはじめとする参加者の子ども達と長い時間を共に過ごすことで、日頃見えていなかった長所や短所、それぞれが生きる上での課題を発見することができました。また子ども達は年齢や性別、障がいに関係なく平等な社会で生きるということを教えられ理解し行動するのではなく、同じ時間を共有することで自然と感じ取り行動することができていました。この活動にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

代表理事 高谷 温子



Messages from Supporters

応援メッセージ



アーティスト 石井 竜也

僕がDonald・マクドナルド・ハウスに関わらせて頂いて、早10年以上となります。その中で次々と作られて行くハウスのスピードには、目を見張るものがありました。それは、そのスピードの分だけ、Donald・マクドナルド・ハウスを必要としている方々がいると言う事です。

この世には、あらゆる種類の問題が山積しています。でも、ニュースに取り上げられるのは、やたらと激しい世の中の流れだけ。

小さな町の小さな部屋で、必死に生き抜こうと頑張る小さな家族の事は無関心。僕らは、いつからこんな社会を作ってしまったのでしょうか？

この取り組みには、実は巨大な意味があります。

それは、人は最後には誰かに頼らなければならない時が必ずあると言う事。

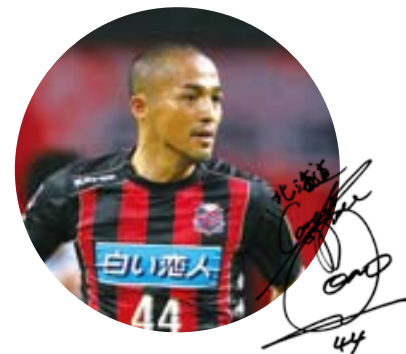
その時に、大きな意味が出てきます。

まだまだ、ハウスの数は足りません。政治がやらないなら民間でやらざるを得ない。また民間でやるからこそ、その意味は巨大なのです。

子供たちの笑顔はそのまま、その国の未来です。そして世界の宝です。

「ウタノチカラ」は、そんな小さな場所から世界に発信できるように思いを込めて作った曲です。

大草原は、窓を10cm開けても見ることは出来るのです。



北海道コンサドーレ札幌 MF
背番号44

小野 伸二

私自身、少しでも力になれたらという思いで、Donald・マクドナルド・ハウスさっぽろチャリティーイベントに参加させて頂きました。

病氣と闘っている子ども達や、そのご家族に、少しでも勇気づける事が出来るよう、引き続き協力していきたいと思います。



北海道コンサドーレ札幌 GK
背番号1

金山 隼樹

今回、Donald・マクドナルド・ハウスさっぽろのチャリティーイベントに参加させて頂き、改めて、ハウスの活動を詳しく知ることが出来ました。このようなサポートは、とても素晴らしいことであると自分自身強く感じ、もっと多くの方に広がっていき、一人ひとりが少しでも協力していくことが必要だと思いました。私自身もサッカーを通じて、もっと沢山の方に知ってもらえるよう協力していきます。



北海道コンサドーレ札幌 MF
背番号4

河合 竜二

病氣と闘う子ども達を勇気づけたいという思いで、ハウスを訪問したり、チャリティーイベントに参加させて頂きましたが、いつも逆に元気をもらっています。そんな子供達にとって、とても大切なハウスの力に少しでもなれるよう、サポートを続けていきたいと思っています。

Messages from Families

利用者からのメッセージ



河田 真芳 (まお) ちゃん
0歳 せたがやハウス

出産後、娘はNICU入院し、担当医から予断を許さない状況であると伝えられました。心配で心配で胸が押しつぶされそうでした。入院中は赤ちゃん幸せに過ごす他のお母さんもいて自分の辛さを抑えることで精一杯でした。そんな弱り切った私を包み込んでくれる空間がハウスにはあり抑えていた涙を一気に吐き出せました。



間所 煌喜 (こうき) くん
2歳 東大ハウス

産まれた時、両脚が曲がっていて、暗闇に入ったような感覚でした。珍しい病気だったので、この先どうなるのかが不安でした。岡山から東京への乳児を連れての通院は大変でしたがハウスのおかげで金銭面でも精神的にも助かりました。これからの目標は1人で歩けるようになること。人より苦労しなければならない事が沢山あるけど、息子と一緒に頑張っていきたいです。



桂 嗣実 (つぐみ) くん
3歳 おおさか・すいたハウス

ハウスでの生活はすぐに病院に駆けつけていける安心感がありました。また家族でくつろげる部屋に広い台所や食堂で自炊できるのが、魅力でした。家族が仕事で帰ったあと私一人でもハウスに戻るとスタッフの皆さまや、友達になった方がいらっしゃるの心強かったです。



首藤 大晴 (たいせい) くん
5歳 せんたいハウス

ハウスはとても綺麗な施設で、説明もわかりやすく皆さん親切に接していただきました。ICUで闘っている息子の元にもすぐに会いに行けると言う安心感がありました。これからは手術を無事に乗り越えた経験を糧にし色々な事にチャレンジし、豊かな人生を送ってもらいたいです。また病気を治していただいた感謝の気持ちを忘れないように生きて欲しいです。



決算報告



常田 文 (ふみ) ちゃん
1歳 おおさか・すいたハウス

「病院から出ても、子どもの近くで過ごせる暖かい居場所がある」そのことが心にあったので病室では子どもの看病に専念することができました。他のお母さんたちとの交流は、先の見えない闘病生活の支えになりました。今でも辛いことに直面したときは、ハウスで出会ったお母さんたちを思い出し、「私も笑顔で生活なくては!」と勇気づけられています。



行田 徠未 (くるみ) ちゃん
10歳 とちぎハウス

胆道閉鎖症だった娘は生まれてから1年間は手術の繰り返しでした。ハウスがまだなかった頃は、近くにアパートを借りて病院まで通っていましたが、ハウスが出来てからは皆さんによくしていただきとても助かりました。娘は今水泳、バスケなど習い事に精を出しています。生まれながらに重い荷物を背負ってきましたが、皆さんに支えられてここまでこれたことを忘れないで欲しいです。



助川 大成 (たいせい) くん
7歳 とちぎハウス

病気を知った時、どうしてうちの子が病気なんだろうと、信じられませんでした。ハウスでは頻繁に食事を提供してもらえ、お雑煮や節分のかざり寿司はとても嬉しかったです。これからはわんぱくでもいいから、たくましく育ってほしいです。



橘 伸市郎 (しんいちろう) くん
9歳 ふちゅうハウス

ハウスのスタッフがかけてくれた「いってらっしゃい」、「お帰りなさい」の言葉。普段、私が主人や子どもに言っている言葉です。自分に言ってもらえることはなく、だからといってそれを気にすることもありませんでした。でも言われる立場になって、この2つの言葉の「重み」、「ありがたみ」を知りました。

正味財産増減計算書

一般正味財産増減の部

平成27年1月1日から平成27年12月31日まで (単位:円)

科 目		当年度	前年度	増 減		
1 経常増減の部	(1)経常収益	①財産運用収入	1,440,000	630,005	809,995	
		基本財産運用収入	1,440,000	630,005	809,995	
		特定資産運用収入	0	0	0	
		②/ハウス事業収入	68,100,397	87,249,050	△ 19,148,653	
		宿泊料収入	49,012,500	40,155,000	8,857,500	
		運営補助金収入	13,908,305	42,567,699	△ 28,659,394	
		その他の収入	5,179,592	4,526,351	653,241	
		③寄附金収入	402,113,647	314,224,545	87,889,102	
		寄附金収入	238,720,140	208,190,910	30,529,230	
		募金収入	163,393,507	106,033,635	57,359,872	
	④会費収入	6,539,000	6,055,000	484,000		
	⑤その他収入	12,182,550	3,435,951	8,746,599		
	配当金収入	0	450,000	△ 450,000		
	雑収入	12,182,550	2,985,951	9,196,599		
	経常収益計	490,375,594	411,594,551	78,781,043		
	(2)経常費用	①事業費	332,665,593	262,711,958	69,953,635	
		1. ハウス事業運営費	331,201,793	261,243,958	69,957,835	
		給料手当	85,295,353	77,960,305	7,335,048	
		光熱水料費	40,500,259	36,150,043	4,350,216	
		租税公課	19,533,430	24,248,110	△ 4,714,680	
		減価償却費	76,725,944	73,259,404	3,466,540	
		その他の経費	103,158,957	46,399,767	56,759,190	
		事業関連経費	5,987,850	3,226,329	2,761,521	
		2. ボランティア事業	1,463,800	1,468,000	△ 4,200	
		ボランティア助成費	1,442,800	1,450,000	△ 7,200	
		旅費交通費	21,000	18,000	3,000	
		会議費	0	0	0	
		②管理費	163,133,018	100,674,220	62,458,798	
		役員報酬	6,887,424	0	6,887,424	
給料手当		31,573,391	37,893,416	△ 6,320,025		
旅費交通費		4,575,125	3,676,238	898,887		
会議費		418,500	664,821	△ 246,321		
通信運搬費		22,070	66,090	△ 44,020		
減価償却費		944,431	1,147,912	△ 203,481		
消耗品費		86,337,843	16,007,882	70,329,961		
印刷製本費		3,097,440	8,920,962	△ 5,823,522		
催事費		16,576,768	19,486,393	△ 2,909,625		
諸謝金		1,446,032	1,490,252	△ 44,220		
租税公課		3,351,600	0	3,351,600		
雑費		7,902,394	11,320,254	△ 3,417,860		
経常費用計		495,798,611	363,386,178	132,412,433		
当期経常増減額		△ 5,423,017	48,208,373	△ 53,631,390		
2 経常外増減の部		(1)経常外収益	有価証券評価益	0	0	0
			経常外収益計	0	0	0
	(2)経常外費用	有価証券評価損	0	0	0	
		指定正味財産への振替額	0	0	0	
		経常外費用計	0	0	0	
		当期経常外増減額	0	0	0	
		当期一般正味財産増減額	△ 5,423,017	48,208,373	△ 53,631,390	
		一般正味財産期首残高	2,383,259,614	2,335,051,241	48,208,373	
		一般正味財産期末残高	2,377,836,597	2,383,259,614	△ 5,423,017	

指定正味財産増減の部

一般正味財産からの振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	522,680,900	522,680,900	0
指定正味財産期末残高	522,680,900	522,680,900	0
正味財産期末残高	2,900,517,497	2,905,940,514	△ 5,423,017



貸借対照表

平成27年12月31日現在 (単位: 円)

科 目				当年度	前年度	増 減
Ⅰ 資産の部	(1)流動資産	現金		2,053,205	1,884,779	168,426
		普通預金		83,883,123	252,825,392	△ 168,942,269
		郵便貯金		130,885,533	15,077,676	115,807,857
		未収金		0	0	0
	流動資産合計		216,821,861	269,787,847	△ 52,965,986	
	(2)固定資産	基本財産	基本財産定期預金	300,000,000	300,000,000	0
			基本財産土地	222,680,900	222,680,900	0
			基本財産合計	522,680,900	522,680,900	0
		特定資産	ハウス建設積立資金	0	0	0
			特定資産合計	0	0	0
		その他の固定資産	建物	2,131,116,419	1,985,998,504	145,117,915
			構築物	24,585,167	27,340,822	△ 2,755,655
			什器備品	25,379,012	17,804,023	7,574,989
			ソフトウェア	87,594	1,032,025	△ 944,431
			電話加入権	76,440	76,440	0
			建設仮勘定	864,000	138,943,700	△ 138,079,700
			定期預金	0	0	0
			投資有価証券	0	0	0
その他の固定資産合計			2,182,108,632	2,171,195,514	10,913,118	
固定資産合計	2,704,789,532	2,693,876,414	10,913,118			
資産合計		2,921,611,393	2,963,664,261	△ 42,052,868		
Ⅱ 負債の部	(1)流動負債	未払金		20,124,530	57,384,716	△ 37,260,186
		預り金		969,366	339,031	630,335
	流動負債合計		21,093,896	57,723,747	630,335	
	(2)固定負債	固定負債合計		0	0	0
負債合計		21,093,896	57,723,747	630,335		
Ⅲ 正味財産の部		① 指定正味財産 (うち基本財産への充当額)		522,680,900 (522,680,900)	522,680,900 (522,680,900)	0
		② 一般正味財産 (うち基本財産への充当額)		2,377,836,597 0	2,383,259,614 0	△ 5,423,017
		(うち特定資産への充当額)		0	0	
		正味財産合計		2,900,517,497	2,905,940,514	△ 5,423,017
		負債及び正味財産合計		2,921,611,393	2,963,664,261	△ 4,792,682

Board of Directors,
Councilors and Selection Members



役員・選考委員名簿

役 職	氏 名	所 属
理 事 長	柳澤 正義	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 名誉総長
専 務 理 事	廣瀬 修	社会福祉法人恩賜財団済生会 評議員
常 務 理 事	木村 恵美子	常勤
理 事	村上 陽一郎	東京大学・国際基督教大学 名誉教授
	鶉橋 誠一	スターゼン株式会社 代表取締役会長
	ティム プレット	日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長
	炭谷 茂	社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長（元環境事務次官）
	小関 誠	AIU損害保険株式会社 代表取締役社長兼CEO
	安田 智彦	フジパンググループ本社株式会社 代表取締役会長兼社長
	五十嵐 隆	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 理事長
	宮原 道夫	森永乳業株式会社 代表取締役社長
	下平 篤雄	日本マクドナルド株式会社 代表取締役副社長兼最高執行責任者（COO）
	長瀬 淑子	公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン 初代事務局長
監 事	二村 隆章	公認会計士
	吉野 賢治	公認会計士
評 議 員	西村 由美子	オーガストネットワークインク 代表
	残間 里江子	プロデューサー
	ジェフリー・マクニール	Market Makers Inc. 代表取締役社長
	宮田 佳代子	フリーキャスター
	後藤 亘	株式会社エフエム東京 名誉相談役
	大熊 由紀子	国際医療福祉大学大学院 教授
	南 砂	読売新聞東京本社 取締役 調査研究本部長
	桃井 真里子	国際医療福祉大学 副学長
	好本 一郎	シミック株式会社 代表取締役社長
	門脇 孝	東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科 教授
	佐藤 仁志	日本マクドナルドホールディングス株式会社 代表取締役上席執行役員
	河野辺 孝則	日本マクドナルド株式会社 CR本部CSR部長
選 考 委 員	丸木 一成	国際医療福祉大学 常務理事
	栗山 真理子	NPOアレルギー児を支える全国ネット「アラジーボット」専務理事
	阪井 裕一	国立成育医療研究センター 総合診療部長
	小見山 智恵子	東京大学医学部附属病院 看護部長

（2016年4月現在）

Supporters



サポーター紹介

Bronze Sponsor(企業)

アイキッズ株式会社
有限会社アクト・パートナーズ
アツヴィ合同会社
株式会社阿部内装
株式会社アメリカ
株式会社アルゴ
株式会社イーストボルトジャパン
株式会社ヴォイスワーク
株式会社エムアンドエイチ
有限会社エス・ケイ・フーズ
医療法人 おひげせんせいのこどもクリニック
有限会社要製作所
カゴメ株式会社
有限会社キノシタ
NPO法人 小江戸大江戸トレニックワールド
国際ロータリー第2550地区第5グループ
さっぽろハウスチャリティーイベント2015
ザ・バック株式会社
医療法人 寿世堂 中川眼科
昭和フード株式会社
株式会社スコレー
仙台白百合学園中学・高等学校 生徒会
仙台トヨベツ株式会社
株式会社ゾラスト
第一生命労働組合札幌総合営業職支部
第一生命労働組合道央営業職支部
一般社団法人玉川医師会
株式会社電通
東罐興業株式会社
合名会社徳永商店
栃木県軽自動車協会
株式会社栃雪
株式会社ドリーム 従業員一同
トリオ・リベルタ
日世株式会社
日本ハム株式会社
日本マツケイン・フーズ株式会社
日本アムウェイ合同会社
有限会社ニューステージ
株式会社ハーベスト
株式会社バイタルネット
パナソニックシステムネットワークス株式会社
株式会社はまだ
有限会社濱フーズ
株式会社ハルマチ
有限会社ビコース
ヒロフーズ株式会社
株式会社ファミリー
公益財団法人ふくおか環境財団
有限会社フリーバード
株式会社ヘルス
有限会社ホット・ショット 従業員一同
マクドナルド北海道フランチャイジー チャリティーゴルフ大会
マクドナルド九州・沖縄オーナー会
株式会社宮崎
株式会社メディチュア
メロディアン株式会社
睦化学工業株式会社
森井整形外科
株式会社遊
株式会社吉川油脂
読売巨人軍
株式会社Bran New
医療法人TDC たなか歯科クリニック

Bronze Sponsor(個人)

赤見内 銀次(楽天イーグルス)
いかり屋 広恵
生田 有吾
池川 洋右
池田 春寿
石村 陽一
石森 義則
磯松 治行
井東 稔晴
伊藤 実
今村 朗
岩倉 由美
上西 博
上野 卓広
鶴橋 誠一
内海 修・彩花・希穂
江口 佳孝
絵野沢 伸・真理子
大本 良行
奥野 友介
オショロコマ
小野寺 洋子
加藤 遥馬
神谷 昌宏
川上 一恵
上村 孝
河野辺 孝則
君野 弦
キャロライン 浩子
小泉 清則・雅子
古賀 正人
小林 明郎
小林 尚哉
榊原 大樹
坂崎 巖
坂本 雄次
サキナハンド部隊
佐古田 麻友美
佐藤 俊夫・順子
佐藤 仁志
佐藤 光展
澤村 幸恵
柴田 一生
菅 裕明
須田 寛志
園田 次男となごやハウスボランティア有志
高崎 明美
高橋 登美子
武 貴志
竹内 彰彦
竹内 久雄
武田 佳穂
田中 有里
ツツミ コージ
堤 厚誌
寺林 清明
鳥潟 美夏子
中井 洋史
永井 豊
中浦 雅子
中島 京子
中島 礼子
長瀬 淑子
中世古 宗助

中殿 幸子
中殿 めぐみ
長沼 正昭
中村 勝則
中村 通伸
中村 靖
新飯田 裕一
仁科 幸子
西山 久樹
野中 圭樹
羽貝 泰昭
橋本 良男
蓮見 由里
畑中 雅之
濱田 博文
原田 和浩
原 紘大
原田 泳幸
孕石 亜有実
原本 俊則
菱沼 秀仁
深堀 圭一郎
福永 貴
平野 秀治
北東 哲也・美苗・滯
本坊 雄一
益川 登
松葉 克浩
松本 謙一
丸山 直樹
宮下 建治
村上 幸司
村山 かつみ
諸角 能徳
谷田部 優
山内 幾雄
山崎 由郎
山下 衛
山田 晴樹
山本 博三
横瀬 公一
吉武 信子
吉村 春美
頼政 一也
頼 勝一
李 宏為
渡辺 政弘
渡辺 優
Smile Heart

（50音順）

Sponsor

Gold Sponsor



Silver Sponsor

アクアクララ レモンガス
グループ



ECOLAB®



Cargill®



クオリティフーズ
株式会社



シオノギ社会貢献
支援会

ジボダンジャパン
株式会社



株式会社
スペースエム



株式会社ドリーム



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

〒163-1339 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー39階

TEL:03-6911-6068 FAX:03-6911-6198

www.dmhcj.or.jp